

山口県土砂災害現地調査報告

平成 21 年 7 月 27 日
(独) 土木研究所
土砂管理研究グループ
火山・土石流チーム

○調査日時：平成 21 年 7 月 22～23 日

○調査者：

国総研：小山内砂防研究室長、桂研究官
土木研究所：内田主任研究員

○行程：

7 月 22 日 (水)：現地調査

防府市真尾地先 上田南川 (老人ホーム周辺の土石流発生箇所)

防府市高井地先 剣川 (国道 262 号線付近の土石流発生箇所)

7 月 23 日 (木)：ヘリ調査

○調査所見概要

★真尾地先・上田南川

流出物は基本的に強風化花崗岩の石礫とマサ、および流木であった。

土石流本体の巨礫は谷出口の農道付近までに概ね停止しており、老人ホームに到達して窓から氾濫したものはほとんどが中礫～マサであり、土石流の後続流部分であると考えられる。

谷出口から上流に 600m 程度を踏査したが、全区間にわたり $\phi=2\text{m}$ 程度の石礫を含む大量の土砂が堆積していた。この区間の溪床勾配は 3～10 度程度であった。

★国道 262 号付近・剣川

溪流内に多数の崩壊・土石流が見られ、上流側には $\phi=1\text{m}$ 程度以上の石礫が大量に堆積していた。また、マサ土の堆積も大量に見られた。

今後、細粒部分は経常的に流出してくるものと思われる。

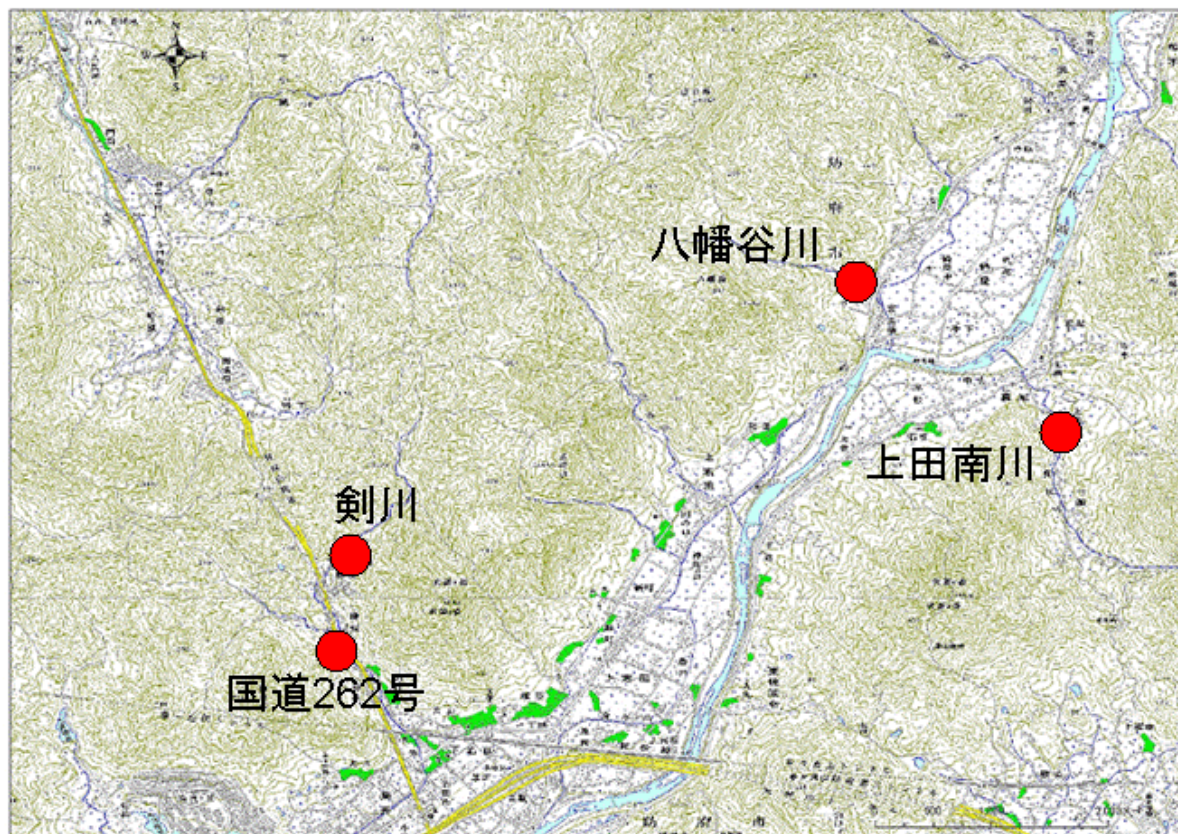
★ヘリ調査

上田南川・剣川を含む 50km² 程度の範囲に山腹崩壊・土石流が集中している。

いずれも、溪流内に不安定土砂の堆積が認められる。

砂防えん堤が入っている溪流では、土砂捕捉・調節効果が一定程度発揮され、被害を軽減しているが、上流からの土砂供給規模が非常に大きいため、下流まで土砂流出している溪流も多くある。

【写真位置図】



●上田南川



写真1 上田南川(ライフケア高砂)



写真2 上田南川(ライフケア高砂)の上流域



写真3 巨礫の堆積域の下流側(写真中央付近のコンクリートは農道)
老人ホーム屋上より撮影



写真4 老人ホーム周辺の土砂堆積状況(土砂は細かい材料が大半)



写真5 土砂の堆積状況



写真6 小規模な天然ダムが形成したと考えられる箇所

●八幡谷川



写真7 八幡谷川

● 剣川



写真7 剣川



写真8 剣川の土砂の堆積状況



写真9 剣川下流の細粒土砂に埋まった家

●国道 262 号線



写真 10 国道 262 号線



写真 11 比較的深い斜面崩壊



写真 1 2 剣川下流の土砂の流出状況

以上